

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 7 年 3 月 31日				
袋井市子ども早期療育支援センター						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	15		雨天時のサーキット遊びは安全を確保するため、グループを半分に分けて活動している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13	2	設置基準以上の配置をしており、子どもの状態に応じ個別に支援が必要な場合は、担当でない職員が補助に入るようにしている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	15		ユニバーサルデザインに基づく、スロープ、エレベーターを設置している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	15		必要に応じて衝立で空間を調整している。今年度は工事の関係で、音や砂ぼこりなどが気になる適宜ブラインドを使用した。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14	1	必要に応じ部屋を用意し、子どもが落ち着けるようにしている。	療育施設として建てられたものではないので、工夫した利用に努める。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	15		職員打ち合わせの中で業務改善をしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15		職員打ち合わせの中で行っている。	常に意見を出し合える環境を作りたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12	3	有識者と保護者による、運営協議会を実施している。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15		月1回の内部研修又は、外部講師を招いた研修を実施している。 外部からの研修も増えありがたく感じている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15		ホームページに公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	15		職員間で子どもの特性について話し合い、保護者と面談を行い個別支援計画を作成し、保護者と内容を共有している。	保護者のニーズや子どもの特性理解には丁寧に対応していく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15		常に支援しているグループで療育を振り返っており、作成に際しては児発管、心理士も含めたグループで検討している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	1	日々の計画を立案する際に、常に支援計画に沿ったものになっている。 要所、要所で支援計画に基づいた支援ができているかグループ全員で確認している。 月案、日案をたてる中で共有化している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	15		WISC、K式などを使用して判定している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	1		

JOC の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	15		毎回終了後、カンファレンスで検討している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	15		毎回終了後、カンファレンスで検討している。 繰り返すことで楽しめそうな時はある程度、長期間で行っている。	療育後のカンファレンスで活動内容及び結果の確認し、共通理解を進める。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	15		個別支援計画及び、教室毎の療育スケジュールにより支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15		教室実施前に打ち合わせて確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	15			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	15			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15			関係機関との連携をより充実させていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15		保育所等に支援計画を保護者から渡してもらったり、園訪問で様子を見に行ったりしている。	インクルージョン推進の観点も含めて、保育所等と支援内容についてより情報共有していく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	15		就学時の子どもの様子を保護者と共有し、それを小学校に情報提供している。	小学校に情報提供している支援計画を活用いただけるようにしていく。普通級に入る子どもの情報提供も丁寧に情報提供していく。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	10	未回答 3 回答 2	袋井市には児童発達支援センターがなかったため、当センターでは職員の質の向上のための研修を実施するとともに、他事業所へも案内をしている。自立支援協議会のこども部会に参加し連携を深めている	連携を図るよう努力をしているが、スーパーバイズや助言等をうける機会は少ない。他事業所と自立支援協議会での情報交換、本施設の職員研修への参加募集、関係専門機関との連携をとり職員の質の向上に努める。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	10	並行通園のため所属園で交流している。 どのお子さんも（親子教室除く）、並行通園している。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15		年2回の個別面談や支援計画の提案時に、保護者と子どもの状況の理解を深め、活動の意図や抑えたポイントについて共通化できるように努めている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	15		4歳児以下は親子で療育を受けている。その他は、月1回参加会を実施して、子育てについての共有化している。	親子での療育教室参加時に、保護者と子どもの特性の理解を深め、子育てに対する支援が行えるように努めていく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15		契約時に実施している。	

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15		面談により計画の立案、共有化をしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	15		面談により計画の立案、共有化をしている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15		年2回定期的な面談及び、随時相談を受けている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。			はぐカフェでクラス単位での交流、学年での交流をしている。 きょうだいの交流は実施していない。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15		随時、相談を受け付けている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	15		園務支援、ソフト、ルクミーを利用して進路など、情報提供をしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	15		写真など視覚によるアプローチやマカトンサインなど使用しながら、情報伝達についても療育している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	11	駐車場を地域の祭典時にお祭り広場として貸し出している。 行事は実施していない。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	15		職員に周知し、対応の訓練をしている。（地震、火災、不審者、感染症） マニュアルを作るだけではなく常に意識しながら活動したい。	毎月の訓練で、災害等を意識して訓練を行う。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	15		保護者に確認している。	生活管理指導票のコピーを提出いただきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14	1		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15		親子通園のため、避難訓練を保護者参加で実施している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15		虐待防止研修を職員研修の中で実施している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	未回答 1 3 回答	身体拘束はしない。 活動からはずれる場合（別部屋で活動）、その意味を保護者に伝えている。 どのような場合に危険防止の制止を行うか研修の中で確認している。	